

## 平成 30 年度 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会

### 議事概要

- 1 日 時：平成 31 年 1 月 17 日（木）13：30～14：50
- 2 場 所：弟子屈町社会老人福祉センター大集会室
- 3 出席者：出席者名簿のとおり
- 4 議 事

#### ■開会

○北海道環境生活部観光局 東郷 典彰 生物多様性担当局長 挨拶

○事務局から津別町が急遽欠席となったことを報告。

#### ■議題

##### （1）阿寒国立公園満喫プロジェクト地域協議会設置要綱の改正について

○事務局から資料 1 について説明。

・本文変更なし、構成員の組織改編による職名変更。

○出席者からの質問等はなし。

○設置要綱を本日付で改定案のとおり改正することを了承。

##### （2）阿寒国立公園満喫プロジェクト ステップアッププログラム 2020 の改定について

○事務局から資料 2 及び資料 3 に基づき説明。

・中間評価を実施、目標年への課題と取組の方向性について説明、改定案を提示。

① 目標の見直し（利用者数から延べ宿泊者数へ変更）

② ターゲットとしてアドベンチャートラベルを追加

③ 中間評価を踏まえた主な取組の追加

④ 目標変更や取組追加に伴う効果検証の見直し

○北海道運輸局から資料 4、アドベンチャートラベルについて説明

#### ○意見等の概要

##### 【前田前田一步園 新井田理事長】

・国立公園は多くの人が自然にふれあえる開かれた場所であるべきで、ターゲットとするアドベンチャートラベルの高学歴、富裕層といった説明には違和感がある。富裕層のための国立公園としていくような誤解を与えかねないので、あえてそこまで説明を加える必要があるのか。

##### 【事務局】

・これまでは、平等な誰にでも開かれた国立公園であるためのサービスを重視してきたが、公園利用者の多様なニーズ（お金を払ってでも上質なサービスの提供を受けたい等）にも対応を行っていくことが重要であるという満喫プロジェクト有識者会議での議論を踏まえ、サービスの選択肢を充実させていきたい。

・もう一つは、地域の活性化。来訪者が増えると一方で環境負荷の増大といった課題も生じる可能性があるため、少人数でも地域に経済効果のあるような旅行スタイルも国立公園の中で進めていくべきとの議論もある。

・こうしたことから、今後も誰にでも開かれた国立公園としてのサービスは提供していきながら、新たなサービスの充実を図っていくもの。

【国土交通省北海道開発局 小林開発連携推進課長】

・アドベンチャートラベルをターゲットに記載することが、そのみにフォーカスするような印象を大きくしてしまうので、取組の方針に加えてはどうか？

【阿寒観光協会まちづくり推進機構 山下専務理事】

・2025年には団塊の世代が75才を超えるという問題があり、この時、国内観光需要は大幅に激減するものと想定すると、インバウンドの取り込みは非常に重要と考える。中国・台湾だけでなく、自然を愛する欧米人を中心としたアドベンチャートラベラーにも国立公園を魅力的な場所と思ってもらうために地域を磨き上げることが重要だと考える。今から先手で取り組む必要があり、ターゲットを絞ることも必要ではないか？また、富裕層が満足できる高い品質のものを提供できる地域を目指し取り組むことが、結果、全ての方々が満足できるものとなり、この地域を目指して訪れる方が増加する魅力ある地域へと繋がるものと思う。

【事務局】

・これらの意見をふまえ、3の取組の方針に今後アドベンチャートラベルを推進する旨を記述し、アドベンチャートラベルの説明として、補足情報や定義のような記載を行うこととしたい。

○修正文は事務局に一任し、ステップアッププログラム2020の改訂とする。(一同了承)

### (3) 満喫プロジェクトステップアッププログラム2020の進捗状況について

○事務局から資料5、資料6に基づき説明。

・ステップアッププログラムの取組推進を図るため、各構成機関の取組の進捗状況、今後の見込みを整理した。

・個別の説明は割愛。参考として環境省で実施した川湯エコミュージアムセンターの活用(カフェやツアーデスクの設置)、和琴でのグランピングの実施状況を説明。

○意見等の概要

【北海道経済産業省 高橋参事官】

・ステップアッププログラムの進捗で「Adventure WEEK」を追加。これは大型ファミツアーで経済産業省の震災にあたっての観光復興予算で実施するもので、旅行会社やアウトドア雑誌などのメディアの総勢約20名の関係者が参加予定。

・2月25日から3月5日まで、知床から川湯・阿寒を経由して最後は札幌をめぐるもの。

### (4) その他

○事務局から参考資料3[旅客税]国立公園のインバウンドに向けた環境整備について説明。

## ■閉会

○環境省釧路自然環境事務所 安田 直人 所長 挨拶

以上